

松屋 起点

松屋より
大日登山道
を経由して

大日岳 大御影山 ルート

NEW
若狭路美浜トレイル新整備コース

大日開拓村跡から大日岳へ 県境稜線からの眺めは最高！



大御影山の山頂付近 (6月撮影)

大日岳は「王の舞」奉納で知られる彌美神社にゆかりの深い山でもある。その昔、大日岳の仏洞というところにヨボの木(リョウブ)があり、そこに金の御幣が現れ、その御幣をお祀りしたのが彌美神社の起源とも伝わる。彌美神社がかつて神仏習合思想の社であったことから、「大日」の名は大日如来に由来し、古くから信仰の山であったことがうかがわれる。

大日開拓村跡は、終

大日岳は「王の舞」奉納で知られる彌美神社にゆかりの深い山でもある。その昔、大日岳の仏洞というところにヨボの木(リョウブ)があり、そこに金の御幣が現れ、その御幣をお祀りしたのが彌美神社の起源とも伝わる。彌美神社がかつて神仏習合思想の社であったことから、「大日」の名は大日如来に由来し、古くから信仰の山であったことがうかがわれる。

戦後の食糧難を乗り越えるため国の施策で田畑が造成され、村が造られたところ(現在は廃村)。大日開拓村跡の登山口へは、新しく整備された「松屋〜大日登山道」を歩くルートをお勧めしたい。車で登山口まで行くには、落石等に注意が必要だが、松屋から能登又林道を利用することもできる。

大御影山の県境稜線を行く道は、近江坂と呼ばれた古道で、近江へ出る。山頂からは赤坂山や三国山、滋

賀県の県境にそびえる山々の姿を堪能できる。

左地図では、下山ルートとして能登又谷への道を示している。このルートはとくに目立つ見どころはないが、⑦〜⑨の間、ブナの大木が疲れを癒してくれる。ただし、谷沿いは沢渡りが多いため、熟練者向きである。



大日岳登山口からのルート

- 1,600m ① 大日岳登山口
登山道に入ると沢沿いを数回縫うように20分ほど渡り歩く。
- 1,200m ② 送電線付近
登山道は沢から離れ尾根へ向かい、この付近から送電線の下を歩く。鉄塔の下で休憩ができ、眺めも良い。
- ③ 県境稜線
ここから大御影山と三十三間山方面の分岐になる(三十三間山までの距離は4.5km〜5km)。
- ④ 大日岳
分岐より50mほどで大日岳に着く。登山道には見事なブナ林が大御影山まで続いている。とくこの付近に群生するブナの原生林は誰もが目を見張るほど素晴らしい。
- 800m ⑤ この地点よりアップダウンが多くなる。
- 1,000m ⑥ 三重ヶ嶽分岐
この分岐より3.1kmで滋賀県の三重ヶ嶽。
- 1,700m ⑦ 能登又登山口からの分岐
- 700m ⑧ 大御影山
大御影山は滋賀県と県境稜線の山、嶺南の山では最高峰。山頂からは、滋賀県と県境稜線上に聳える赤坂山や三国山など眺めることができる。

